多文化関係学会　2023 年度　第 1 回理事会
議事要旨

日時：2023 年 5 月 14 日（日）11 時～12 時 50 分
場所：zoom 開催
出席者：笠原正秀、石黒武人、渋谷百代、石井英里子、申知元、趙師哲、李鳳、灘光洋子、小林浩明、矢元貴美、奥西有理、坂井二郎、叶尤奇、伊藤明美、猿橋順子
委任状：岡部大祐、横溝環
司会：渋谷　記録：猿橋

（敬称略・順不同）

議事に先駆け、笠原会長より挨拶がなされた。

1. 報告事項
(1) 事務局報告
正会員 207 名、シニア会員 5 名、学生会員 41 名、合計 253 名。
登録手続き中の会員（7 名）は、論文投稿および発表申込み可能。

(2) 財務委員会報告（資料 1）
監査を受け、会計が適正であることが確認された。支出明細など詳細な記載を追記した。

(3) 2023 年度活動計画について（各委員会委員長）
1) 地区研究会委員会
北海道・東北：2023 年度は 10 月 7 日にハイフレックス開催を企画している。
関東：2022 年度第 2 回研究会をハイフレックス開催（2 月 4 日）した。参加者 20 名。新しい委員を選出した。今年度研究会は計画中。
関西・中部：2022 年度研究会を対面開催（3 月 12 日）した。今年度研究会は計画中。
中国・四国：2022 年度研究会をオンライン開催（2 月 4 日）した。2023 年度 11 月 11 日オンライン開催を企画している。詳細はニューズレター掲載。
九州：2022 年度研究会ハイフレックス開催（1 月 7 日）した。今年度前半は大会運営を中心的に担い、シンポジウム企画も進めている。

2) 学会誌編集委員会
第 20 号の投稿を 5 月 10 日に締切り、4 本の投稿があった。編集委員を補充したい。

3) ニューズレター委員会

43 号の原稿はほぼ集約された。現在、発行に向けて編集中である。

4) 学術委員会
委員欠席（後日報告）

5) Web 管理・広報委員会
委員欠席（後日報告）

6) 選挙管理委員会
報告事項なし

7）第 22 回大会運営委員会
・2023 年 9 月 9 日・10 日（8 日プレ企画）、北九州国際会議場で対面開催。
・一般研究発表を 5 月 1 日から募集開始（締切：5 月末日）。発表者決定は 6 月末予定。
・基調講演者決定、シンポジウム（九州地区の研究会企画を兼ねる）を企画中、大会運営委員会企画セッションを学術委員会と共に企画中。
・大会ウェブサイトを近日中に公開予定。
・抄録はデジタル版のみとする。

8）将来構想委員会
委員会招集前の構想段階。会員数、とくに若手会員を増やすための取り組みを検討する。20 周年記念出版「縁側」知の系譜を継承・発展させるための仕組みづくりに取り組む。

9）学術連絡委員会
委員会招集前の構想段階。（執行部・学術委員長・学会誌編集委員長で構成することから、特に）学術と学会誌の連携や特定課題研究の活性化について取り組む。

10）若手会員リクルート委員会
委員会招集前の構想段階。若手の研究支援、交流イベントなどに取り組みたい。

2. 審議事項
(1) 2023 年度予算について（資料 2）（財務委員長）
2023 年度予算案について、資料 2 に基づいて提案された。その際、会員数が漸減していることから収入規模の縮小が想定される一方、会員サイトリニューアルのための費用、地区研究会等の対面開催が増えるので会議等にかかる費用が増えることが見込まれるとの説明があった。審議の結果、提案通り予算案が承認された。

なお、学会規模に比して資産が多いと考えられるので、若手支援を中心に、会員への還元を理事会でひき続き審議していくことを確認した。

(2) 特定課題研究について（学術委員長/副会長（学術））

今年度の募集のあり方も含め、応募者が増えるような運用を学術委員会が中心となり引き続き検討する。改良点として、各地区研究会で終了時にアナウンスをする、支給額を増額する、ホームページ上で分かりやすく掲示する、などの意見が出された。

(3) 第 22 回大会について　（大会委員長）

助成金を受けることができること、4 年ぶりの対面開催であることなどから、本会計の支援も受けながら、参加費を低く設定することが提案され、審議の結果、承認された。

(4) 会員専用サイトの改正について（事務局長）

会員専用サイトを 6 月から運用開始とし、メーリングリストで案内する。当面、不具合・改善点が見つかった場合は事務局長に依頼をし、事務局長がとりまとめてしゅくみねっとへ修正依頼を出す、という形で進めることを確認した。

会員登録等に困難な会員に対するフォローについては、実際に運用が始まってから対応していくことにする。

(5) その他

・選挙を経ていない各委員会の委員について、本人の了解を得た上で、ホームページのメンバーリストに掲載する。

・九州地区研究会の名称を九州・沖縄地区研究会とする提案がなされ、承認された。総会での審議を経て、正式に決定する。

＊次回（第 2 回）理事会の日程

2023 年 7 月または 8 月開催、場所未定

以上